

多くの可能性にジャンプ!! 多可町に赴任した地域おこし協力隊の活動レポート「たかおこ誌」創刊

# たかおこ誌



創刊号!



## 地域おこし協力隊をご存じですか?

「地域おこし協力隊」は平成21年、国が運用を始めた仕組みです。社会貢献を目指す有志者と、人口減少・高齢化が進む地域を結びつけます。現在、日本全土で5000名を超える隊員が奮闘中です。

そんな地域おこし協力隊が、多可町でも活動しています。

隊員は6名。「多可」の語にちなんだ「たかおこし隊」を結成し、特産品の販売促進や空き家活用、健康促進、景観保持、情報発信などを行っています。動機こそ異なるものの、全員が「多可町への貢献」を目指して来しました。

ところが、生活を始めてみると……ムカデに刺されて目が覚めたり、風呂のお湯が出なくなったり……想定外の事態に見舞われ、地域の皆さんに助けられています。

そんな私たちの体験談を、ぜひ聞いてほしい!

こうした思いから、多可町地域おこし協力隊の広報誌「たかおこ誌」を創刊しました。

日々、ご協力くださる皆さんに、感謝を込めて。

## 海外だと思って……

山崎 栞

### 普段の業務は？

今は主に空き家バンクの運営管理として、動きが少ないページの写真や紹介文の差し替えを行ったり、新規物件の掲載を行ったりすることがメイン業務です。

最近、360度カメラ（撮影者の周囲360度が撮影出来る）を導入したので、そちらも組み込んでいきたいと思っています。

### なぜ多可町に？

ずっと海外志向で、「もう日本なんていいや」って正直思っていました。実は大学卒業後も海外に行く予定で。

けど、そんなことも社会情勢に阻まれ、外出自粛期間に自分が本当にやりたいことと向き合ってみたら、「案外日本でも実現できるんじゃない？ 情報がまだまだ少ない地方移住と海外旅行って似てない？」と気づいた時が、私の移住の第一歩でした。

偶然に偶然が重なり、学生時代空き家問題に携わっていたことも相まって、全く聞いたこともなかった多可町という町に、今いるんだなと思います。

### 業務・活動の難しさは？

移住者と話す中で、子育てや結婚など、様々な質問をされます。お答えするにしても、まだ経験がない人生の過程なので、その知識を補填する必要性を感じています。

また、私が初めて多可町に問い合わせたとき、その対応にすごく救われて、多可町に対してすごく好印象を持てたの

ですが、その時のように自分もいろいろなことに対してフランクに受け答えできるように心がけています。

### 今後の目標は？

多可町を『住みたい田舎ランキング』の上位に押し上げたいですね。

### 最近のニュース・発見など！

物件所有者と「最近寒すぎて全然起きれないんです」とお話ししていたら、「よかったらこの暖房あげるよー」とい

ただいてしまいました。田舎の人のフランクさがすごく心地い

縁もゆかりもなかった多可町。何も知らないからこそ、見えるものもいっぱいあるんです。



擔任  
2020年  
8月

Yamazaki  
Shiori

出身 大阪府枚方市  
担当 空き家利活用と移住定住業務



## Takagi Walking Rikiya

出身 島根県松江市  
担当 健康保養地事業

擔任  
2020年  
8月

心の師匠は綾小路きみまろさんです。

### 笑いを味方に

たかぎウォーキング力也

### 普段の業務は？

ガイドの補佐と健康アドバイスの紹介を担当しています。

ウォーキングツアーの出発前、『たかぎのワンポイントセミナー』と題し、認知症予防講座や健康アドバイスを伝えているのですが、「あれから40年」というフレーズは本家本元、綾小路きみまろさんの使用許可を得た口上。笑いは健康につながりますし、影響を受けています。

### なぜ多可町に？

多可町の森がクアオルト協議会の指定地（協議会は、質の高い健康保養地だけを厳選）だったことは大きかったですね。

元々、森林を走る競技者だったので、森の良さ悪しはわかるんです。そんな私から見ても、多可町の森はとても美しいと思います。

また、今までの人生で何十か所も引越したのですが、多可町は「自分自身の帰

る場所」だと思えました。

どこにやりがいを感じますか？

ウォーキングイベントの参加者に「来てよかった」と言ってもらえることが次への活力です。

まだまだ手付かずのことが多く、一つ一つ新たに開拓していくことができるという点にも喜びがあります。

### 今後の目標は？

何に関しても「たかぎさんがやるなら行こうかな」と思ってもらえるようになることです。

そして、相乗効果で多可町がもっと広がっていくことに貢献できればと思っています。

### 最近のニュース・発見など！

ギリギリ40代の私ですが、多可町では「超貴重な若手」と言われます。とはいえ、町のおじいちゃん、おばあちゃんってほんと

元気ですよ。あ、お姉さんでした。失礼（笑）



多可町を舞台にしたウォーキングツアーをいま直ぐチェック！

多可の自然とウォーキング



塩むすびが原動力!

Tono Seiya

出身 兵庫県神戸市  
担当 岩座神棚田保全  
播州百日どりの  
ブランド継承

着任  
2020年  
8月



思いを形に

東野 聖弥

普段の業務は?

棚田の保全や播州百日どりの鶏舎の清掃、葛や生花づくりの実習など、幅広く関わらせていただいています。

どうして多可町に?

地域おこし協力隊の存在は、前職を辞める際、親戚に紹介されて知りました。でも多可町は、もともと母の親戚が暮らしていて、岩座神の棚田にも行ったことがあり、馴染みがありました。

なので「協力隊をするなら、自分には多可町があるのでは?」と思って調べたところ、「棚田の後継者不足」と書かれていて、「あの景色が途絶えてしまうのは怪しい」と思い、応募しました。

どこにやりがいを感じますか?

岩座神の棚田保全と播州百日どりのブランド継承、どちらも枠組みが大きく、何にでも挑戦できる分、どのように行動すればいいのかが問われます。

ただ、できることは増えています。例えば棚田の草刈りで機械を使うとき、以前は刃や糸を取り替えるだけで時間がすごいかかっていたのですが、今ではスムーズに交換できるようになりました。

播州百日どりなら、鶏舎の掃除や鶏が休む籠を敷くことは、1人で行なえるようになりました。些細に思われるかもしれませんが、こういった変化が励みになり、やりがいも感じられます。

最近のニュース・発見など!

米の収穫期、職場の上司のお手伝いをしたのですが、お礼にいただいたお米が美味しくて、「やっぱり岩座神の棚田米っていいな」と、つくづく感じています。今は、そのお米で作る塩むすびが僕の日々の活力です!

情報発信マン

黒川 直樹

普段の業務は?

町内で開催されるイベントや企業・店舗、職人さんを取材しています。

町全体を体に染み込ませないと、発信する情報に説得力やインパクトが出ないと思うので、積極的に出かけ、お話を伺ったり、イベントに参加したりしています。まとめた情報は「たか歩き」と銘打ち、役場のホームページに連載中です。

どうして多可町に?

前職は怪獣でした。嘘です。東京と和歌山を拠点に、取材やインタビュー、撮影、デザインを請け負うフリーランスでした。多可町の地域おこし協力隊に応募したのは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、生活の再設計を迫られたからです。

応募動機は複数ありました。とりわけ、多可町の景色や風土、町の皆さんが醸し出される空気感、播州織の製品と職人のまばゆさは格別で、いまでも色褪せません。また、これまでにいくつか、協力隊員を募集する自治体を見学しましたが、「ここに住みたい」と感じたのは多可町だけ。新鮮な感覚でした。

業務・活動の難しさは?

取材・執筆・撮影・編集・デザインなど、情報発信の業務を1人で行なうため、いつのまにかスケジュールがギッシリ、パンパン音がします。情報には鮮度と賞味期限があり、



Kurokawa Naoki

出身 東京都小平市  
担当 播州織技術と商工観光  
地域情報の発信

着任  
2020年  
11月



多可町を撮り歩き  
出来事を書き留める  
「たか歩き」連載中

多可町 たか歩き

多可町を  
タカタカと徒歩

公開のタイミングが重要。適切な日時に行えるよう、今後は時間配分の精度を上げ、立派に変身したいです、情報発信マンに。

最近のニュース・発見など!

「やってもやっても終わらん……っ!」週末の夜——自宅で悶々と雑務をしていたら、コンコン……ノックの音です。ドアを開けると、そこには「近所の面々「オーバーイツ多可です」と美声を揃え、手にしたお盆には10品を超える手料理が、ずらり。

収穫したての野菜がふんだんに使われ、まさに選り取り見取り、ヒヨドリも小躍りです。

これが噂に聞きし、おすそ分け文化かあ……と、こぼれる眩き、止まらない箸の動き。極上晚餐に胸と腹が膨らんだので、いざれ風船になります。ふわあ〜

岩座神の情報は  
isarigami.netで  
いま直ぐチェック!



isarigami.net



## 走り続ける

寺川 敏博

### 普段の業務は？

大きく分けて3つです。1つ目は地域商社RAKUのプロジェクト・施策の考案と予算管理。2つ目が、ふるさと納税の特産品管理やポータルサイトの運営。3つ目は、エアレーベン八千代の支配人としての経営・運営業務です。

### なぜ多可町に？

多可町って質の高い材料や特産品、豊かな自然があるのに、その存在が町外、県外に全く知られていなくて……すごくもったいないと思ったんです。

前職の営業・コンサルティングスキルを活かせば、「多可町や特産品の知名度を上げられるのでは？」と感じ、協力隊に応募しました。

### 業務・活動の難しさは？

私は、町のためになっていないことを壊し、新しいことを始めるため、多可町の協力隊に着任したと思っています。

でも、私の理想を押し付け、頭ごなしに仕組みを壊そうとすれば、これまでの暮らしや歴史を否定することにもなり、

協力していただけなくなってしまいます。町の皆様あつての協力隊なので、まずは相手の立場に立って考えるように心がけています。

### どこにやりがいを感じますか？

正直……やりがいは感じていないんです。小さい成功はあっても、自分の中で実現させたいと思っているイメージに、まだまだ到達してないからだと思います。売り上げがぐんと伸びたり、目に見えて大きな成果になってくると初めてやりがいを感じられるのかもしれない。

でも、やりがい感じたら死んじゃうかもしれないですね、自分のすべきことはそこで終わりなのかって(笑)

今後の目標は？

町が賑わうこと！

### 最近のニュース・発見など！

つい最近、同じ地域で暮らす知人が、郵便局員に自宅を尋ねられたとき、「お近くに住まわれている、寺川敏博さんの家から見て、どの辺ですか？」と聞かれたみたいで。岩座神で暮らし始めて2年半になります。私の家が郵便配達の見印になっていると、初めて知りました(笑)



2年半たった今でも、毎日が自分自身との闘いです